

## 【連絡】

- ・病気等やむを得ない理由による選手、監督・コーチの変更につきましては、「変更届」を本部で受け取り、監督会議開始前までにご提出する。選手やコーチの追加登録は認めない。「チームの棄権」がある場合は、すぐに本部に伝える。
- ・朝のコートでの練習は、8:00から6分間の5交代で行う。コート割り振りは別紙参照（1チームで6分）。
- ・開会式は実施しない。受付終了後に代表者会議を管理棟下で行う。

## 【競技注意事項】

- ① 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスルールブック及び本大会要項、競技注意事項に従って行う。なお、服装等の規定は、熊本県中体連大会の要項に準じる。
- ② 熱中症対策を十分に行い、参加者が体調を整えて試合ができるように水分補給等の配慮をする。
  - \* マッチ中は、ベンチでの日傘の使用を認める。ただし、傘の色は、日光などを反射して試合に支障をきたす恐れがあるもの(白・銀色等)は認められない(コート外の応援者・観戦者も、これに準ずる)。
  - \* チェンジサービス時、ファイナルゲームのチェンジサイズ時に審判台付近での給水を認める。その際の給水容器はあらかじめ選手が自分で審判台の下に置いておくものとする。また、給水のみを速やかに行い、打ち合わせなどはしないようにする。
  - \* 気温等を考慮して、ヒートルールを適用する場合もある。適用する場合は、本部から放送で伝える。「会場での暑さ指数(WBGT)が原則3以上となり、ファイナルゲームとなった場合、ファイナルゲームに入る前に3分間のテニスコート内(アンパイヤーの目の届く範囲)での休憩を許可する。」(競技規則第46条)
- ③ 落雷事故の防止については、下に示した対応をするなど十分に行う。
  - ・厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意する。
  - ・かすかでも雷鳴が聞こえる際でも落雷の危険があるため、すぐに安全な場所(鉄筋コンクリートの建物、自動車、バスの内部)に避難する。
  - ・気象庁ウェブサイトにおいて、雷注意報等の発表状況や、雷発生の可能性の高い地域が地図上で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報の活用も行う。
- ④ 3ペアによる点取り法で勝敗を決める。予選リーグは必ず3ペアとも試合を行い、決勝トーナメントは2点先取とする。ただし、6名にみたないチームは、必ず1番、2番に正規のペアを出すものとし、予選リーグの際は、3番はオープンでゲームを行う(0-3で負け)。
- ⑤ 予選リーグは、5ゲームマッチで行う。決勝トーナメントは、進行、天候等も考慮して、5または7ゲームマッチで行う。
- ⑥ 使用球は公認球(白)を使用する。(女子:ケンコー、男子:アカエム)
- ⑦ ベンチは小さい番号を審判台から見て左側とする。
- ⑧ 監督・コーチのベンチ入りについては、監督1名・コーチ1名の最大2名までとする。  
「原則として監督は必ずベンチに入る(例外として認められるのは、2チーム以上の監督を兼ねていて試合が重なりベンチ入りが不可能な場合のみ)。

- ⑨ 監督またはコーチは、その学校の教員、部活動指導員、クラブチーム責任者、中体連に登録してあるコーチを原則とし、日本ソフトテニス連盟に登録し、指定のゼッケンを上半身の見える位置に着けている方のみとする。
- ⑩ 試合前の挨拶は、審判、監督、コーチ、選手が整列して行う。  
リーグ戦は、挨拶の前に監督がスコアシートにオーダーを記入し、確認のためオーダー用紙の交換を行う。トーナメントでは、スコアシートの作成は本部で行う。よって、オーダー用紙は、2部作成し、1部を本部へ提出し、もう1部は、コートでのあいさつ時に相手監督と交換をする。
- ⑪ 監督・コーチが選手へアドバイスする際は、ルールを守る。  
\* アドバイスは、チェンジサイズ時やファイナルに入る前のみとする。時間を守る。その他のタイミングで選手にアドバイスしたりする行為は認められない。  
\* マッチ中にベンチに入っている監督、コーチ以外からの指示・アドバイス等は、固く禁止する。  
\* マッチ中に「質問」できるのは監督、プレーヤーのみとする。
- ⑫ 勝ったチームの監督は、スコアシートを確認して、「勝者サイン」に監督(自分)の氏名を記入して、試合終了後すみやかに本部まで届ける。
- ⑬ 試合が連続する場合は、10分程度の間隔をとって、試合を進めていく。
- ⑭ 審判については、今大会も選手が担当する(公認審判員ワッペンを左胸に着用して行う)。選手が聞き取れる声の大きさをコールすることを心がける。また、以下に示すことを特に注意する。  
\* 試合開始前の挨拶時における「オーダーの確認」については、選手名を確認することは省略して、「1番、2番、3番」と言って、手を挙げさせる程度の確認を行う。  
\* サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、ポイント終了から副審は計時を開始し、40秒で1回目のホイッスルを鳴らす、次に60秒で2回目のホイッスルを鳴らす。それでも動きがなければ「レッツ・プレイ」とコールする。「レッツ・プレイ」に従わない場合は、警告(イエローカード)を与える。  
「サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、ポイント終了から1分以内に次のポイントを開始する態勢に入るものとする。」(競技規則第17条の一部抜粋)  
\* タイムについては、「プレーヤーに突発的な身体上の支障が生じ、プレーの継続ができなくなり(マッチ開始前の練習中を含む)、これを正審が認めた場合。ただし、同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで2回以内とする。」(競技規則第39条)となっている。  
\* 予選リーグは、リーグで試合をしないチームで担当する(進行表に記載)。  
\* 決勝トーナメントは、そのコートの直前の試合で負けたチームにお願いする。  
\* 決勝トーナメントの1試合目は、そのコートでの予選リーグ最終試合の負けたチームが担当する。なお、そのチームが決勝トーナメントに進出した場合は、勝ったチームが担当する。  
\* ベスト8のチームで、「準決勝、決勝、3位決定戦」の審判を担当する(3位決定戦は実施しないこともある)。  
\* 次の試合の選手はもちろん、審判もすぐにコートに入れるよう、コート付近での待機をしておく。
- ⑮ 進行表に従って大会を進めていくが、進行の状況により、コートの変更、使用コート数の変更(2面、3面)もある。決勝トーナメントは、対戦が決まった試合から順次行う。
- ⑯ 敷地内はもちろん、通路等でのラケット、ボールを使った練習は控える。

## 【担当者】

本日の運営は、責任者を中心に運営しますが、荒尾、玉名、山鹿、菊池、阿蘇地区の指導者の方も、(必要な際はお声かけしますので)ご協力ください。

	競技責任者	レフェリー
女子	鋤先良浩(八代第二)、津山正行(白川)	長崎辰美(三加和)
男子	安達優喜(大津北)、日根野聡(あいあい SC たらぎ)	岡本睦(七城)

## 【その他】

- ① 会場の使用方法(ゴミの持ち帰りなど)、応援マナーなどは、監督の責任です。
- ② 本大会に係わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、熊本県連盟に帰属し、承諾するものとする。本大会に係わる動画・静止画撮影については、別紙(熊本県ソフトテニス連盟主催・共催大会における動画・静止画撮影について)で確認して遵守する。
- ③ この大会の1、2、3、4位のチームが所属する地区またはクラブ枠が「熊本県中学校総合体育大会ソフトテニス競技」の団体の部のシード権を得ることになる。
- ④ ベスト4まで入賞したチームは、熊本県ソフトテニス連盟のホームページに結果を掲載する際に写真も掲載するので、ベスト4以上に入賞したチームの監督は、写真をホームページ上に掲載することについて、選手本人、保護者の承諾の確認をしておく。写真は、表彰式後に撮影を行う。